

# かわむら **こども** クリニックNEWS

Volume 18 No 01

198号

平成22年 1月 1日

かわむらこどもクリニック 022-271-5255

HOME PAGE <http://www.kodomo-clinic.or.jp/>

あけまして  
おめでと  
うございます



今年もよろしくお祈りします

院長・スタッフ一同

## 新しい年に向けて -2010-

院長

毎年恒例ですが、新しい年に向けてと題して昨年を振り返ってみます。

社会情勢での最も大きな変化は、何と云っても政権交代でしょう。民主党が政権をとって、4ヶ月。マニフェストでは子どもや子どもを持つ家庭に対する様々なことが盛り込まれ、「中学卒業まで、1人当たり年31万2000円の「子ども手当」を支給します。高校は実質無償化し、大学は奨学金を大幅に拡充します。」と。医療では、「医療従事者等を増員し、質を高めることで、国民に質の高い医療サービスを安定的に提供する。特に救急、産科、小児、外科等の医療提供体制を再建し、国民の不安を軽減する。」、子どもに対する政策に力が入られる予定。予防接種の充実がマニフェストにも。Hib ワクチンの定期接種化にとどまらず、肺炎球菌ワクチン、HPV(ヒトパピローマウイルス:子宮頸がん予防) ワクチンの定期接種化推進にも期待。最近、様々な問題や、ぶれているとの指摘もあり、先行きが不安ですが、期待したいと思っています。

自分にとっては、苦難の一年(大袈裟かも)でした。最初はゴールデンウィークのセブ島旅行(詳しくは6月号)での、嘔吐下痢症。せっかく訪れたのに、4日のうち2日は無駄に。それだけでは済まず、帰国したG.W.の最終日、遅れていた新聞発行のため一日中パソコンと格闘。数日後



嘔吐下痢症でけっそり

## 1月のお知らせ

- 医学生実習  
1月8日(金)  
よろしくご協力をお願いします。
- 栄養育児相談  
毎週水曜日 13:30~  
栄養士担当 無料



から何となく、背中痛みが出現。痛みがひどくなり鎮痛剤が必要となり、1週間程度の我慢の末、整形外科受診。主治医の庄子先生曰く、「頸椎の間が狭くなっている。日頃の診療の影響か老化か、まず職業病みたいなものだから。」「薄皮をはぐように少しずつ良くなっていくから、鎮痛剤と湿布で乗り切るように」と。少なくとも悪い病気で無いことに安心したものの、良くなっていく気配は全く無く、むしろ日に日に悪化。痛みで夜も眠れず、鎮痛剤と湿布、睡眠薬のお世話に。やっとの思いで診療を終えると、ひたすら横になって安静を保つ日々。朝起きると多少の改善するものの、診療につれて背中痛みが悪化し、首、肩の痛みが加わり、ついには右手のしびれが出るような毎日に。6月からは、庄子先生の勧めもあり、診察室の配置替えとコルセット装着しながらの診療。少しずつ改善傾向はみられるものの、学校健診、1歳6ヶ月健診、講演などの激務によって、悪化改善の繰り返し。7月からは鎮痛剤や湿布薬のお世話になることも少なくなり、8月にはコルセットからも解放。本当に辛い3ヶ月でした。



もうひとつ、大きな出来事が。同じグループを作っている親友の小児科が、1月から体調が悪くなり、健診で胃に病気が見つかり、2月中旬に手術を受けることに。手術後一度も改善することも無く、胃ガンでも悪性度の高い“スキルス”で4月1日に他界。あまりにも若く(56歳)、短い経過での死。自分にとっても、大きなショック。4月の初旬は、涙しながらの診療だったので、気付かれた方もいたのかも。何も出来なかった悔しさから、残された家族のためにクリニックの譲渡に没頭。首や背中痛みをこらえながら、何とか引き受けてくれる先生を口説き落として、無事譲渡が完遂。天国で喜んでくれる友人の笑顔が見えるような。ある意味、大きな充実感を伴った、去年一番の大仕事だったと。親友の死を教訓に、5月に胃カメラと大腸ファイバー含めた健診を受け異常なし。健康の大切さを教えてくれた、親友に感謝です。

最後は、新型インフルエンザ。これは散々記事にしたので、今回はコメント無。休日や午後休診の時間帯のワクチン接種、不満一つ言わずに(むしろ院長が引っ張ってもらった)熱心に仕事してくれたスタッフに、本当に感謝の一年でした。

よく働いたご褒美として、年末年始休暇を例年より多くとらせてもらいました。皆様にはご迷惑をおかけしましたが、皆リフレッシュしてきました。5月以来一度も出来なかったゴルフとダイビング、セブ島で十分堪能してきました。これも理解ある皆さんの陰です。ありがとうございました。今年は、いいことばかりの一年にしたいものです。

麻疹風疹ゼロ作戦キャンペーン 『1才のお誕生日に麻しん風しん混合ワクチンを』



## あけまして

## おめでとう ございます

新しい年の始まりです。年とともに軋む身体をいたわりながら、日々笑顔で過ごしたいと思ひます。今年もよろしくお願ひいたします。

婦長 中米 由美子

今年は体力作りの年に。腰痛解消にまずは腹筋背筋力から少しずつ始めていきたいと思ひます。

看護師 佐藤 陽子

明けましておめでとうござひます！今年には自分のペースでより充実した一年を過ごしてきたいと思ひます。

事務 福地 あさか

昨年は、忙しい日々でしたが、先生、スタッフが一致団結した、充実感がありました。今年には、また新しい趣味を増やして、楽しみたいでひす。

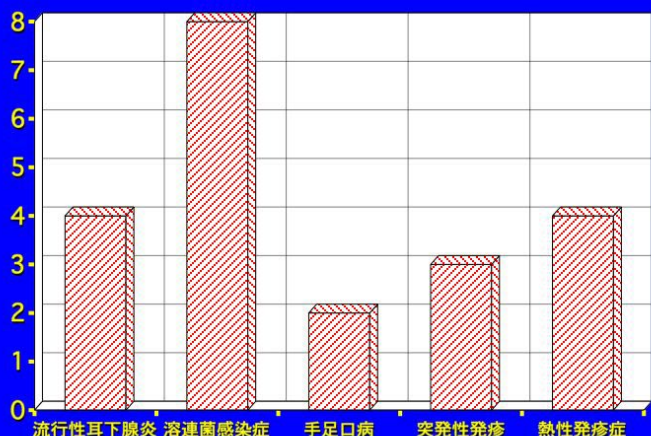
事務 道端ちひる

## 読者の広場

先月は、9通のメールを頂きました。プライバシーや医療相談に関わるメールが多かったので、1通だけ紹介します。『お母さんクラブ』のクリスマス会に参加した、青葉区の子山崎さんから頂きました。「初めてのクリスマス会で、楽しみにしてひました。紙芝居、絵本、会員さんや薬局スタッフさんによる出し物、ビンゴにゲーム... 本当に盛りだくさんの内容で、時間があつという間に過ぎました。みんなでおやつタイムの後はサンタさんからプレゼントとツーショット撮影。1歳の娘は大泣きでしたが(汗)良い思い出になりました。プレゼントのサンタ人形やクリスマスカードは、クリニックのスタッフさんが仕事を終えた後に一つ一つ手作りしてくださつたとのこと。新型インフルエンザのこともあつて超多忙な毎日だったでしように、とても丁寧でかわいらしい作りに感謝しました。たくさんプレゼントと、何より温かく楽しいひとときを過ごさせていただき、ありがとうございます！」。クリスマス会を十分堪能していただいたようで、開催側としてもうれしい限りです。17家族、総勢50人近い参加を頂きました。クリスマス会の目的は、みんなで楽しむことはもちろんですが、クリニックから患者さんへの感謝の気持ちから開催してひます。出しものは、スタッフの紙芝居、スリル満点のビンゴゲーム、薬局の“いたずらレンジャー”、三宅・梅澤ファミリーの“ちびまる子ちゃん”、“タオルでポン”などのゲーム。そしておやつタイムにはば“フルーツヨーグルト・チーズケーキ”、美味しいもの楽しいこと満載でした。忙しい時間の合間に準備して作つたクリスマスカードやプレゼント。大きなプレゼントを抱えて帰っていくときの笑顔で、スタッフの苦勞も報われた気がしました。参加した皆さん、ありがとうございます。新年度に向けて、『お母さんクラブ』の会員募集中です。こちらでも、どうぞよろしくお願ひいたします。クリスマス会の模様は、待合室に掲示してあります。是非ご覧ください。



## 12月の感染症の集計



水痘、おたふく、溶連菌感染症が増加してひましたが、水痘はゼロで、おたふく、溶連菌感染症の増加もありません。

インフルエンザは半分以下で、11月の331人から137人に減少してひます。恐らく新型インフルエンザの流行は、このまま下火になりそうです。さて、現在のところ仙台では確認されてひませんが、季節型のインフルエンザがどうなるのか、先行きを見極めていきたいと思ひてひます。

## 200号記念誌原稿募集

新聞を発行して16年が経ち、来年の3月で200号を迎えます。200号記念紙を予定してひますが、皆さんの協力をお願ひします。

当院との思ひ出、日頃感じてひること、お子さんの話、など。文章だけでなく、写真やお子さんの作品等、何でも結構です。是非お寄せください。

締め切りは2月20まで。クリニックに持参しても構ひませんが、メール (patient@kodomo-clinic.or.jp: 携帯からでも大丈夫)

多くの投稿をお待ちしてひます。よろしく、お願ひいたします。

## 年賀状 ありがとうございます

今年もたくさんの年賀状を頂き、ありがとうございます。本来は御返事を差し上げるところですが、この場を借りてお礼を申し上げます。 院長・スタッフ一同

## 編集後記

無事に新年を迎えることが出来ました。今年の年末年始のお休みは少し長めで、皆さんにはご迷惑をおかけしてひました。新しい年に向けて、スタッフ共々十分リフレッシュが出来ました。ありがとうございます。

今年にはまた、何か新しいことが出来るか、思案中です。今年もよろしくお願ひいたします。



麻疹風疹ゼロ作戦キャンペーン 『小学校入学前にも麻しん風しん混合ワクチンを』  
Ⅲ期 (中学1年生相当)、Ⅳ期 (高校3年生相当) も忘れずに！